あなたの大切な家族を守る

災害時のための準備と行動

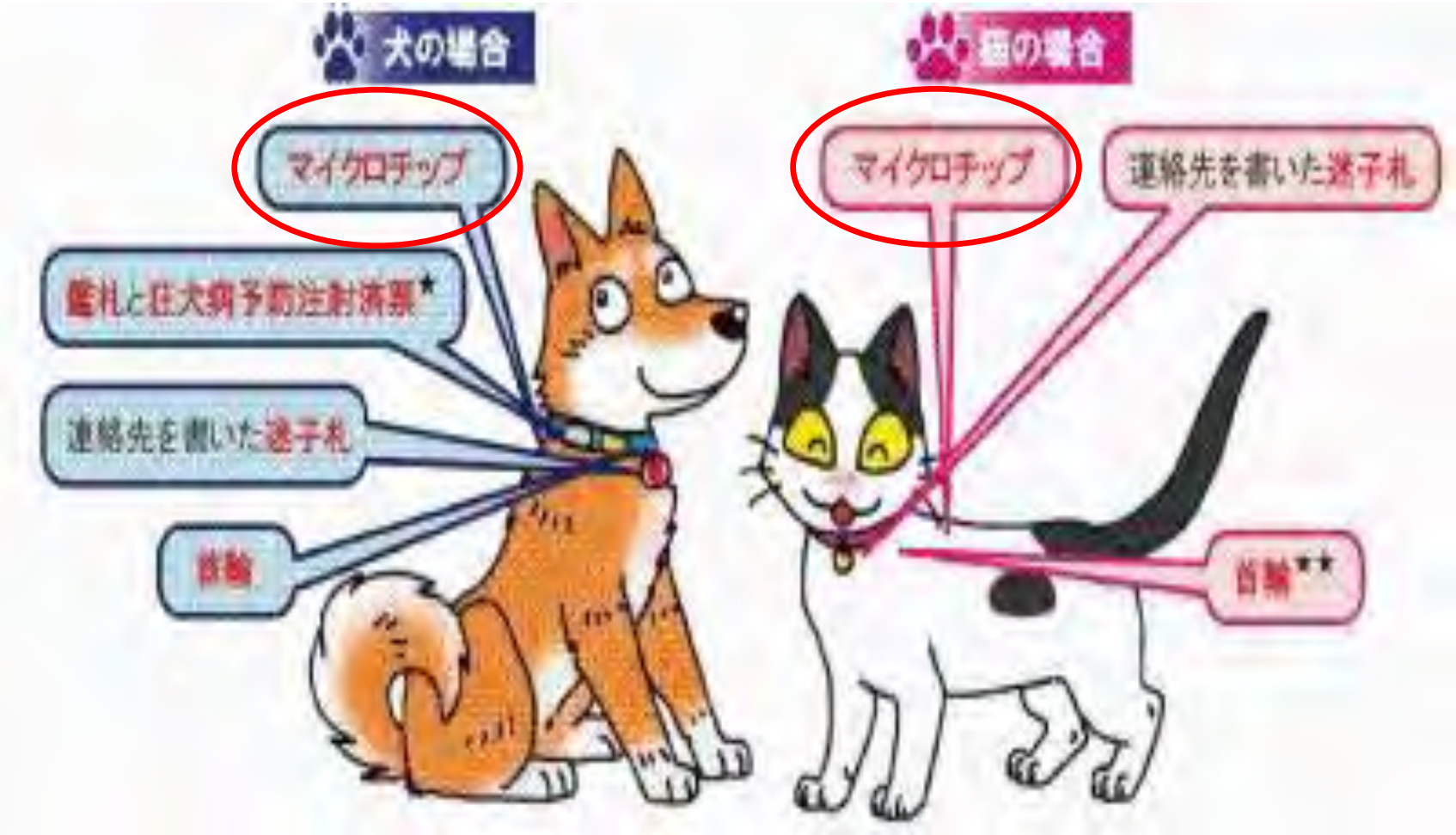
湘南獣医師会

2019

日頃の備え

- 飼い主の明示（マイクロチップの装着等）
- 犬の登録と注射済票の装着(法的義務）
- 健康管理(予防注射、ノミダニ予防等）
- しつけ(ペットの命を守るため）
- 防災用品
- ペットの一時預け先の確保
- 自宅の災害対策
- 地域での良好な関係づくり

飼い主の明示


犬の場合
マイクロチップ
鑑札と狂犬病予防注射済票★
連絡先を書いた迷子札
首輪
猫の場合
マイクロチップ
連絡先を書いた迷子札
首輪★★

健康管理

混合ワクチン
接種

ノミやダニなど外部
寄生虫の駆除や予防

犬フィラリア症
の予防

狂犬病予防接種
(犬の場合)

しつけ
(ペットの命を守るため)

犬の場合

- 「待て」「おいで」「お座り」「伏せ」などの基本的なしつけを行う。
- ケージなどの中に入ることを嫌がらないように、日頃から慣らして おく。
- 不必要に吠えないようにしつける。
- 人や他の動物を怖がったり攻撃的にならないように慣らしておく。
- 決められた場所で排泄ができるようにする。

しつけ
(ペットの命を守るため)

猫の場合

- ケージやキャリーバッグに入ることを嫌がらないように、日頃から慣らしておく。
- 人やほかの動物を怖がらないように慣らしておく。
- 決められた場所で排泄ができるようにする。

持ち出し品とストック

持ち出し品

- 水・えさ（療法食は多めに）ローリングストック方式
- リード
- トイレ用品
- 処方薬
- ペットの情報
- キャリーバック（劣化に注意）
- ガムテープ・マジックペン
- 口輪・くつ(歩かせて避難する場合）ネット(猫を入れる）
- その他優先順位

ストック

- ケージ
- 水・えさ
- 迷子用のチラシ(事前に作成）
- その他

携帯電話に登録

- ペットの病名や検査結果、薬の名前
- ペットの写真（全体がわかるもの）

災害時のペットの大切なメモ

- □ 誰に連絡するか
- □ どこに避難するか　①　　②
- □ 何を持っていくか　①　ペットの避難袋　②
- □ 持出品はどこにあるのか
- □ 誰にペットの救出を依頼するか（外出時）
- □ ペットを誰に預けるか（長期の避難時）
- □ どこに移るか（避難場所からの移動）

電話番号メモ

ペットの主治医

美容院

ペット仲間

その他

一時預け先

被災地以外の場所

- 親戚・友達・知り合い
- 動物病院
- ペットホテル
- ボランティア

→

- 氏名・名称
- 連絡先の住所
- 電話番号

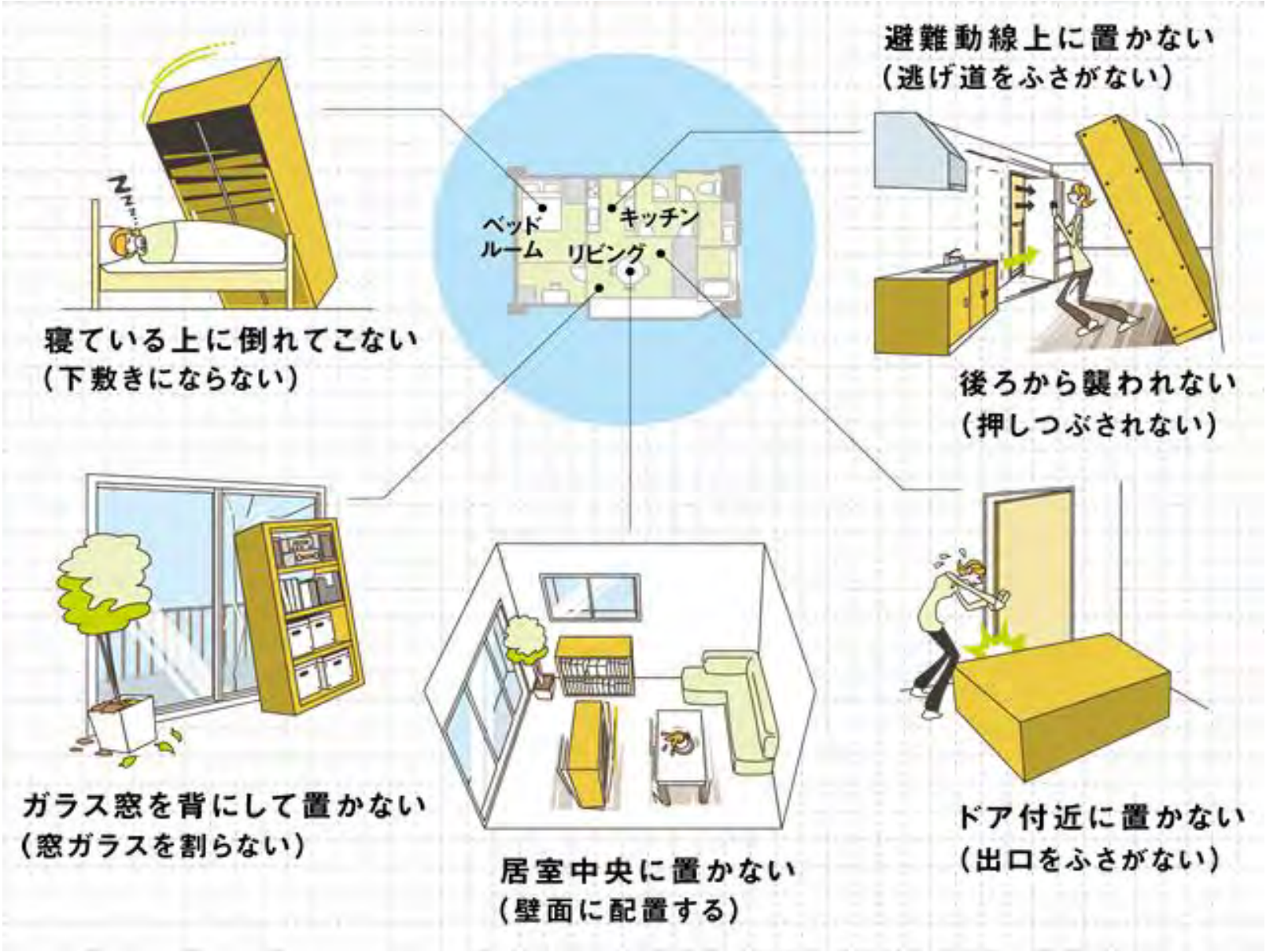
事前に了解を取り、メモを持ち出し袋に入れておく

自宅の災害対策

◆ 家具や飼育ケージの固定、転倒防止、落下防止

◆ 屋外飼養の場合は、飼養場所の安全確認（外塀やガラス窓の近くを避ける）

◆ ケージ、クレートなどペットの避難場所（隠れ場所）の確保


避難動線上に置かない
(逃げ道をふさがない)
ベッドルーム
キッチン
リビング
寝ている上に倒れてこない
(下敷きにならない)
後ろから襲われない
(押しつぶされない)
ガラス窓を背にして置かない
(窓ガラスを割らない)
居室中央に置かない
(壁面に配置する)
ドア付近に置かない
(出口をふさがない)

日頃の備え

防災力

- 地域での良好な関係づくり
- 助け合いの心を忘れずに

家族や地域での話し合い

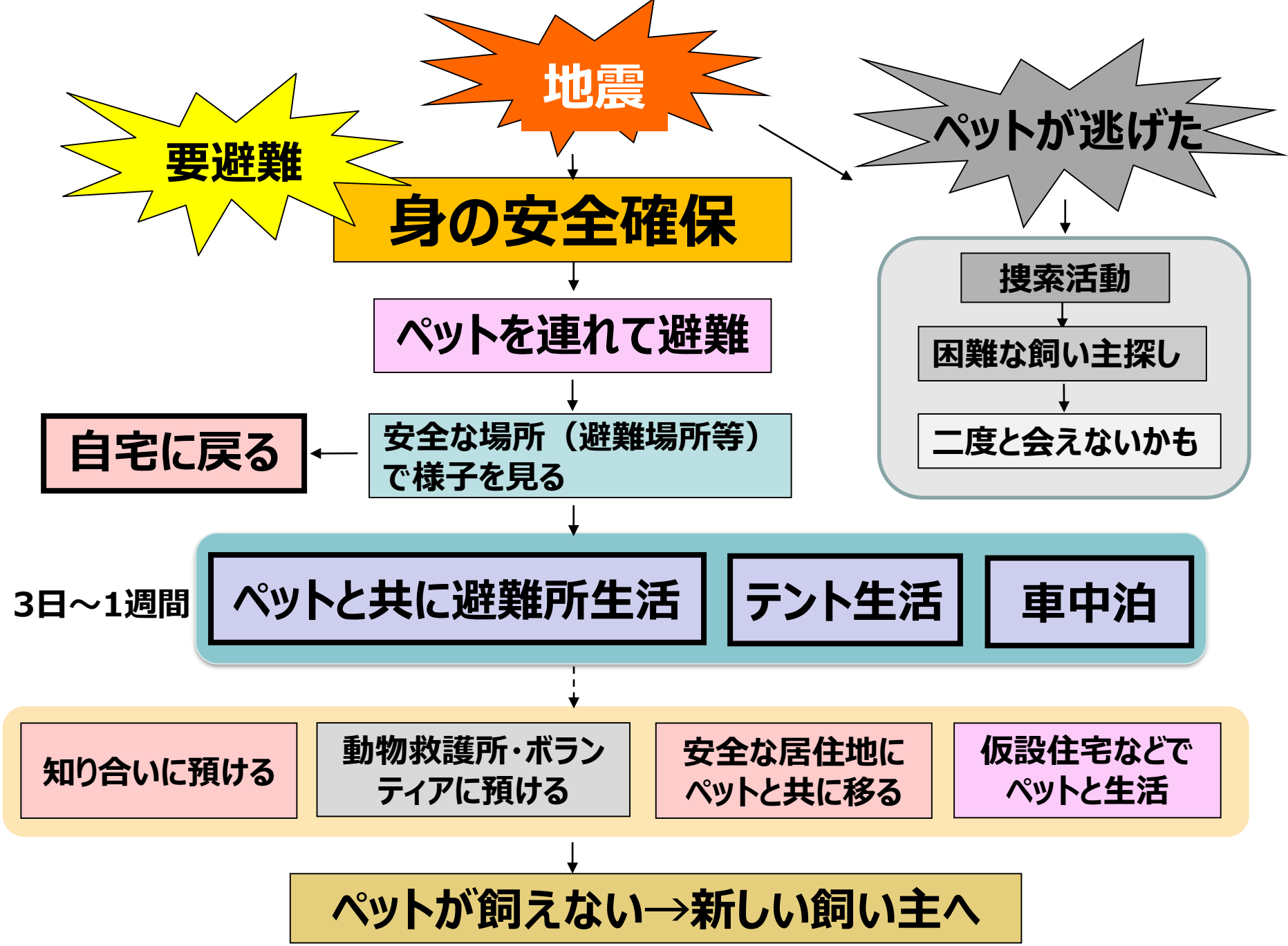
◆連絡方法や集合場所

◆ペットの避難方法や役割分担

◆留守中の対処方法と協力体制

◆緊急時のペットの預け先の確保

◆物資の持ちよりや共同飼養などの申し合わせ


地震
要避難
ペットが逃げた
身の安全確保
ペットを連れて避難
安全な場所（避難場所等）で様子を見る
自宅に戻る
捜索活動
困難な飼い主探し
二度と会えないかも
3日～1週間
ペットと共に避難所生活
テント生活
車中泊
知り合いに預ける
動物救護所・ボランティアに預ける
安全な居住地にペットと共に移る
仮設住宅などでペットと生活
ペットが飼えない→新しい飼い主へ

発災
所有者不明動物
同行避難の動物
臨時救護施設（会員病院）
動物保護センター
避難所
自宅
知り合い宅
ボランティア
所有権放棄
飼い主判明
自宅
飼い主不明
新しい飼い主

避難所へ避難する際の注意点

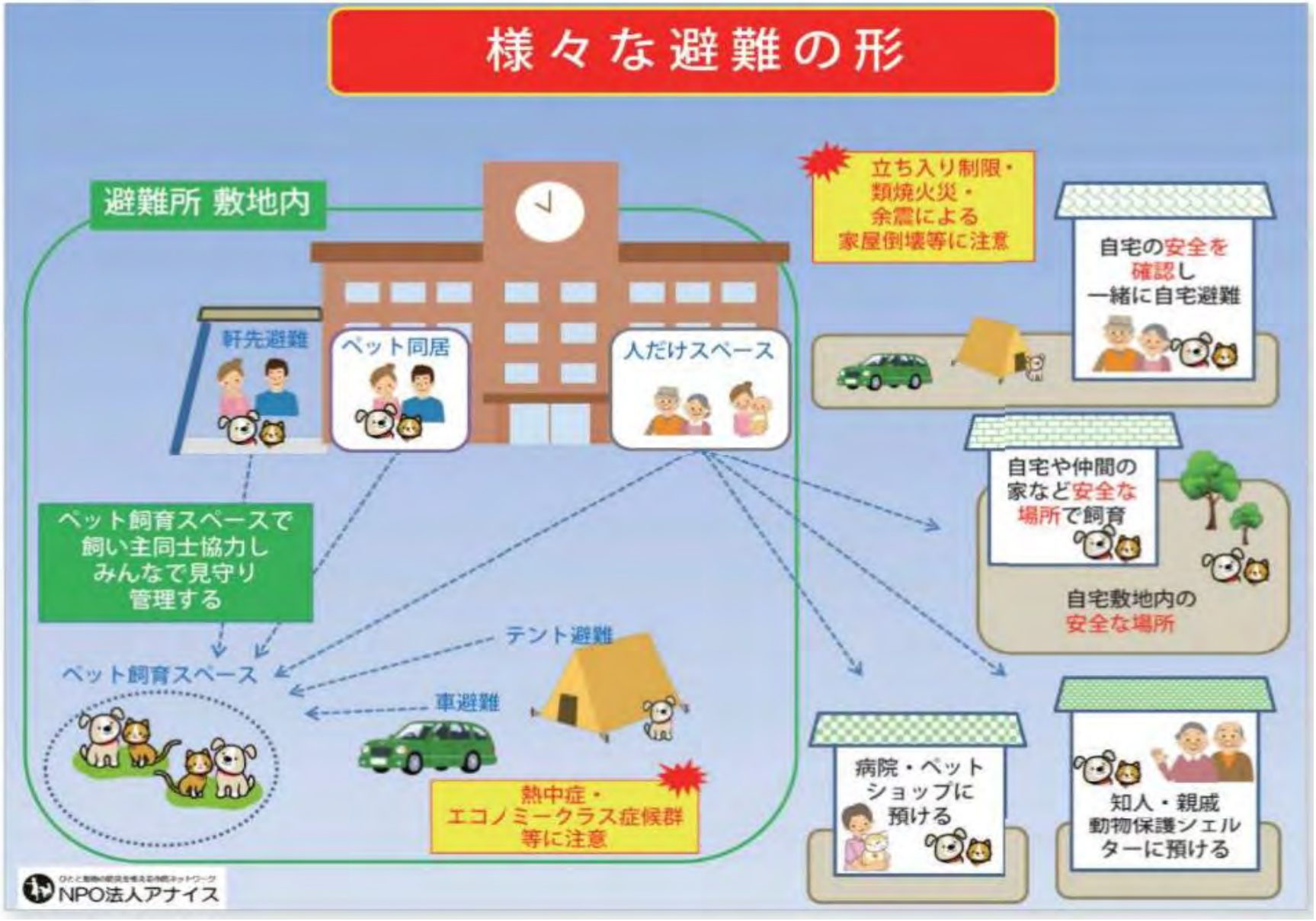
1　歩かせて避難する場合
- 靴を履かせるか足に布などを巻いて保護する
- 人ごみの中では口輪を付ける

2　ケージやキャリーバッグに入れて避難する場合
- ふたが開かないようガムテープやひもなどで固定する
- ジッパーの所にもテープを張る。

3　避難所に到着
- 入り口付近から離れる
- 手続きを済ませ、所定の場所に速やかに移る

4　避難所の中
- ペットと同行してきた仲間と一緒に行動する
- 代表者を決め、避難所設置者と話し合う
（避難所運営者に文句を言わない）

様々な避難中のペット飼養環境（参考）



避難先での行動

避難所内の建物利用

話し合い

単独行動をしない

1　避難所の状況を理解

2　人と動物の住み分け方

3　避難所運営者への提案の仕方

テント生活
車中泊

助け合い

誰もが被災者

小さい子供を連れている人

お年寄りに付き添う人

障害を持った人に付き添う人

ペットを連れている人

避難所のお手伝いもしましょう

最後に

自分が何を用意しておき、どう避難するか、避難先でどう工夫するか、どう問題を解決するのかを考えておくことが大切です。

そうした準備を今日から始めてください。

避難所では思いやりのある行動を心がけましょう。

『君とずっと一緒にいたいから』